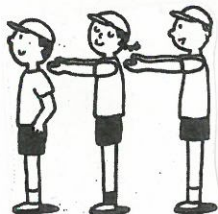


令和元年 10月10日(木) 第21号



第三関門、[体育大会]へ！



たくさんの学校行事がある2学期ですが、これまでの学年だよりで報告してきたように、第一関門【水泳大会】、第二関門【合唱コンクール・文化発表会】を見事に乗り越えてきました。いつも話すように、大切なことは「水泳がうまくなること」や「合唱が上手になること」ではなくて、その行事に向けて「自分が全力を尽くすこと」や「クラスが団結すること」です。これまでの行事が本当に「成功した！」といえるのなら、次の第三関門【体育大会】へ向かう姿勢から違ってくるはずです。今回は、来るべき【体育大会】についてのお話をしようと思います。



この学年だよりが配布される頃には、すでに3回の学年練習が終わっています。1回目の学年練習では、入場行進・開会式・ラジオ体操・閉会式などの練習が中心となりました。「疲れるなあ」と思うかもしれませんが、これらはすべて全校生徒が一丸となっておこなう《演技》です。実際に、堀江中学校をよく知っている人は、特に入場行進から開会式を見て、その完成度に感動されます。たとえば、入場行進を「演技」にまで高めるか、「単なる移動」に終わらせるか、それは取り組むキミたちの気持ちにかかっています。入場行進に限らず、何をするにしても、「できるのにやらない」という姿勢では「学び」は得られません。すると、成長することがないので、やりがいも感じられません。全校生徒で取り組む入場行進からも、多くのことを学んでほしいと思っています。

2回目の学年練習は学年種目の練習が中心でした。こちらは誰もが楽しく取り組める競技だとは思いますが、私たちは「楽しむこと」と「ダラダラすること」の意味をはき違えてはいけません。体育大会当日は、1・3年生はもちろん、保護者の方や来賓の方などたくさんの方が私たちを見ています。そんな中、「ダラダラした競技」「自分たちだけがへらへら楽しんでいる姿」を見せられるほど不愉快なものはありません。中学校に入学して1年半——。私たち61期生が積み重ねてきたもの、創りあげてきた空気感をこそ、いろいろな人に見ていただきたいと思います。

3回目の学年練習は、これまでの復習と競技ごとの招集・種目説明が中心でした。学年だけでなく全校生徒が参加する体育大会をスムーズに進めるためには、【移動は駆け足】が大切になります。いつでも、何をするにしても、「目の前のことに、一生懸命に取り組む」という姿勢でいれば、必ず学びが得られ、自分の成長にもつながります。次の61期生の雄姿を楽しみにしています。

